

社会保険委員会

委員長：内田 満

委員：相原 正記、井上 邦雄、岩澤 幹直、宇田川晃一、大久保文雄
大西 清、大場 創介、荻野 浩希、金子 剛、島田 賢一
関口 順輔、瀬崎晃一郎、田中 嘉雄、鳥山 和宏、西村 剛三
二ノ宮邦稔、深水 秀一、前川 二郎、湊 祐廣、村上 正洋
村上 隆一、吉田 哲憲

開催年月日：①平成22年4月7日(全体)、②平成22年7月3日(在京)、
③平成22年8月6日(在京)、④平成22年9月4日(在京)、
⑤平成22年9月16日(全体)、⑥平成22年12月4日(在京)、
⑦平成23年3月5日(在京)、その他適宜e-mail委員会

活動の概要：1. 平成23年度診療報酬改定について

- ① 議員および認定施設・教育関連施設の施設長に対しては文書で、会員に対してはHP上で、診療報酬改定の要望項目に関するアンケートを行った。
- ② アンケートの内容を参考にし、社会保険委員により技術新設8項目、技術改正5項目、材料新規・改正3項目が選別され、さらにそれぞれに要望順位を付けた。
- ③平成23年度改正要望項目

技術新設

1. 骨内異物(挿入物)除去術 頭蓋・顔面(複数切開を要するもの)
2. 顔面多発骨折変形治癒矯正術
3. 遊離穿通枝皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)
4. ICGによる赤外線蛍光リンパ管造影
5. 陰茎再建術(尿道再建を伴うもの)
6. 乳房縮小術(性別適合手術におけるもの)
7. 自毛植毛術
8. 脂肪吸引術(再建目的に限る)

技術改正

1. 併施手術の加算点数見直し(対象手術：K016・K017・K019・K020・K021・K033) 加算点数の見直し(100/100加算)
2. 分層植皮術(25cm²未満、25cm²以上100cm²未満、100cm²以上200cm²未満、200cm²以上) 点数の見直し(増点)
3. 画像等手術支援加算 2. 実物大臓器立体モデルによるもの 点数の見直し(増点)
4. 皮膚レーザー照射療法 2.Qスイッチ付レーザー照射療法 算定可能治療回数の見直し(「2回を限度」の廃止)
5. 画像等手術支援加算 1. ナビゲーションによるもの 対象手術の拡大(K334・K334-2・K427・K427-2・K433・K434・K443)

材料新規・改正(点数の新設)

1. スキンスタイプラー
 2. 顕微鏡下血管吻合用縫合糸
 3. 熱可逆性樹脂
2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

下記のメンバーで活動を行った。

常任委員：関口 順輔、金子 剛（平成 22 年 12 月まで）
総務委員会：関口 順輔
実務委員会：大西 清
手術委員会：金子 剛（副委員長）、二ノ宮邦稔
処置委員会：関口 順輔（委員長）、荻野 浩希
検査委員会：二ノ宮邦稔、荻野 浩希
コーディング ワーキング・グループ：相原 正記
医療材料・医療機器 ワーキング・グループ：前川 二郎

① 術試案技術度 E 難度見直しについて

以下の 8 項目が E 難度に留まり、他の手技は D 難度に移行された

- 1) 深在性血管腫摘出術（顔面、露出部）
 - 2) 顔面神経麻痺動的再建術
 - 3) 自家遊離複合組織移植
 - 4) 自家遊離複合組織移植（自動吻合器使用）
 - 5) 頭蓋顔面拡大再建術
 - 6) 頭蓋顔面拡大再建術（延長器使用）
 - 7) 全眼窩移植再建術
 - 8) 陰茎再建術
2. その他のもの
3. 皮弁による尿道再建を伴うもの

② 手術試案第 8 版の医療材料入力に関して

前川委員が中心となり、医療材料 2-C の入力に関して、約 30 の施設から回答された結果をもとに、社会保険委員会で討議し、形成外科が責任学会である約 100 の術式に関して医療材料入力フォームを完成させた。手術のコーディングについては相原委員を中心に行った。

③ 処置試案について

関口委員が中心となり、処置試案の大幅な変更作業が行なわれた。

④ 新規術式の登録

手術試案第 8 版に自毛植毛術（D 難度）、遊離穿通枝皮弁術（（顕微鏡下血管柄付きのもの）（E 難度）、脂肪吸引術（再建に限る）（D 難度）を登録した。

3. 日本医師会疑義解釈委員会関連（金子委員）

形成外科に関わる案件なし。

4. 先進医療専門家会議、高度医療評価会議関連（金子委員）

形成外科に関わる案件なし。

5. DPC 関連（金子委員）

本年度は厚労省保険局による MDC 毎作業班会議は開催されなかった。

6. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連（金子委員） 形成外科学会より 2 名。社保委員外で鈴木啓之（千葉こども病院）。

本年度は活動なし。

7. 広報活動

①社会保険形成外科診療報酬早見表について

最終稿が日本形成外科学会ホームページの会員専用欄に掲載され、冊子も作成された。

②第 5 3 回日本形成外科学会学術集会において社会保険委員会報告『形成外科領域における診療報酬の改定』を開催した。

日時：平成 2 2 年 4 月 8 日（木）

司会：関口 順輔、内田 満

演者：宇田川晃一、大西 清

③第 5 4 回日本形成外科学会学術集会において、教育講演が行われる。

日時：平成 2 3 年 4 月 1 5 日（金）

司会：関口 順輔、内田 満

演者：宇田川晃一『レセプト審査の現状と保険診療 Q & A』

大西 清『外保連の概要と現況』

金子 剛『先進医療・高度医療の現況』

8. その他

①医療上必要性が高い未承認の医療材料・医療機器に関して、今年度も適切なものが見当らず、申請を行わなかった。平成 2 3 年度は会員へのアンケートを活用し、より広く候補を募り、申請を行う予定である。

③团的個別指導（平成 2 2 年評議員提出議題）について評議員および認定施設・教育関連施設の施設長に対しては文書で、会員に対しては H P 上で実態把握のためのアンケートを施行した。形成外科開業医で同様の問題を抱えている人がいることが判明した。

学会としての対応を検討し、対策を進めることとした。